

西原自治会だより

発行 西原一区自治会
西原二区自治会
電話 & FAX 876-0484
平成22年9月3日

第113号

今月の行事予定

☆

西原自治会敬老会

日時：平成二十二年九月十二日(日) 午後二時
場所：西原公民館

晴天の中、盆踊り、大綱引き大成功

八月十四日(土)の盆踊り、八月十五日(日)の西原大綱引きは両日とも好天気の中で実施された。

行事の出来、不出来は天候に影響されるので今年はその心配もなく自治会で準備計画された分の内容は十分に発揮されたのではないかと思います。

盆踊りで屋倉はないけど親子参加型に一工夫し一緒に踊っている姿は例年にないにぎわい振りで、その風景は見ていて楽しく印象よかったです。

大綱引きは見せ場である“綱巻ち”を本部前で見せることができ、“たたき綱”も実際に見せることができたので来年の大綱引きが、今から楽しみに待っていられる。

今年は綱を引いてから演舞をする形に全体の流れを一変しての取り組みだったが、その方が一般に受けていて、人々の気持ちも最後まで勢いがあり、盛り上がり続けた。

来年は細部のチェックをして部門担当を置き、しっかりとした管理体制に移行していけるようにすれば、人々の十全な働きで見えて楽しいにぎわいのある大綱引きが西原で見ることができるようではないかと自治会としても取り組みについて思案している所である。

綱引きに際しては地域企業を始めに多くの皆様から御寄付や物品等数多くいただきました。お蔭様で怪我もなく無事に終了することが出来ました事を報告致します。

西原はこれからも皆様の支援の中で大きく成長できるように区民ともども頑張りたいと思います。紙面を借りて御寄付や物品等を頂きました皆様に対し、自治会からお礼を申し上げたいと思います。

“御協力下さった皆様に対し感謝致します。ありがとうございます”

西原一区自治会 会長 又吉 実

西原二区自治会 会長 棚原春男



☆ 夏祭り盆踊り、新しい試み好評 ☆

8月14日(土)の盆踊りは始めてやぐらなしで実施された。やぐらがなくても皆が同じ目線で上手下手関係なく踊れて、満足げであった。観客も視野が広くなり、踊る人全員が見わたせると好評であった。

広栄保育園は今までに例を見ない大人数の親子演技で観客を魅了しました。最初の演技で盆踊りに花を添えてくれて、後の一般の踊りを後押ししてくれました。多くの子供たちがゲームに興じるために集まったため、大人の参加を促した。



裏面へつづく



『エイサー合戦で賑わう』
お盆中日(二十三日)、西原御縁坂陸橋で西原青年エイサー保存会と浦西青年会との間で第三回目のエイサー合戦を夜九時前から繰り広げた。ご先祖様の供養と地域内を清める三日間の道ジュネーの中日、エイサー合戦の太鼓の音色は多くの観客の心をとらえ、大きな拍手を受けた。エイサー合戦をやっているのは市内では西原と浦西の青年たちによってのみであり、文化的に意味があり、今では地域の人達の楽しみになっている。



☆市老連ボーリング大会(午前の部)で団体優勝 ☆

8月16日(月)勢理客アークボール場で行われたボーリング大会で5名の総得点1301点で堂々の優勝だった。選手は新垣重雄、棚原正昇、比嘉佑年、棚原正一、石川浩の5名の皆さんで、新垣重雄さんはラッキー7賞、ストライク賞を獲得した。若葉会は輪投げの個人優勝についてボーリングでも団体優勝に輝くなど、各単位老人会からマークされるようになってきた。

〈第4回浦添市語やびらしまくとうば大会〉

西原くとうばが脚光をあびる！

8月29日(日)午後2時中央公民館大ホールで200名余が参加して開催された。

子供たちの歌や三味線、劇などが中心で、純粋な“しまくとうば”で語ったのは棚原正二さん(若葉会三役)一人であった。

西原くとうばと言うことで注目を集め堂々と西原の置かれている現状を話し聴衆を魅了してくれました。市内でも独特な語り口で知られる西原くとうばが日の目を見た意義は大きく区民に勇気をあたえる事でしょう。